

霞ヶ浦医療センターを受診された患者様へ

- ＊当院では、下記の臨床研究を実施しております。
- ＊研究は全て当院倫理審査委員会の審査を受け、病院長の許可を受けております。
- ＊本研究の対象者に該当する可能性がある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合、また質問等おありになる場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
- ＊診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合においても、皆様の病院サービスご利用について不利益が生じることは全くございません。
- ＊研究はあくまで日常診療から集積される診療情報を利用するものであり、新たに患者の皆様に何らかの負担が生じることはございませんので、ご安心ください。

研究課題名（承認番号）	切除不能局所進行非小細胞肺癌に対する化学放射線療法およびデュルバルマブ地固め療法導入後の再発治療の多施設共同後方視的観察研究（2025-6）
研究責任者の氏名（部門）	菊池 教大（呼吸器内科）
研究の対象者 （研究対象期間）	切除不能な局所進行の非小細胞肺癌と診断され、化学放射線療法およびデュルバルマブ地固め療法を受けた後に再発した患者さんのうち、2018年7月から2023年6月の間に当院でプラチナ製剤併用治療と免疫チェックポイント阻害薬ないしプラチナ製剤併用治療を受けられた方
研究の目的	切除不能な局所進行の非小細胞肺癌と診断され、化学放射線療法およびデュルバルマブ地固め療法を受けた後に再発した患者さんにとって、プラチナ製剤併用治療のみか、免疫チェックポイント阻害薬を併用すべきかは現時点で明らかになっておらず、どちらが肺癌の進行や生存期間を延長させるかを検証します。
研究の方法	研究の対象者の診療録から抽出し、診療情報項目・臨床データをカルテから収集します。
研究に使用される 診療情報項目	患者情報（治療開始時） 性別、年齢、全身状態、臨床病期、再発部位 腫瘍情報 組織型、遠隔転移臓器、PD-L1発現（腫瘍細胞のタンパク質で免疫チェックポイント阻害薬の効果を測定します） 治療情報 投与された治療薬、治療開始日、治療終了日、中止理由、病勢の増悪の有無、増悪確認日、副作用 その他 最終転帰（生存の有無、生存確認日または亡くなられた日、死因）
個人情報の保護について	研究実施計画書の規定に従いエクセル表に臨床データを入力し、クラウド上にアップロードします。患者さんの情報は、容易に個人を特定できないように符号化し、研究用に割り振られた番号と患者さんを結びつける対応表は外部に提供しません。 また、収集した情報は、研究事務局の神奈川県立がんセンター呼吸器内科に集約し、特定の関係者以外がアクセスできない状態で保管・管理した上で、保管期間終了後に適切な方法で破棄します。
共同研究機関の有無 （名称、責任者氏名）	有（がん感染症センター都立駒込病院 呼吸器内科 渡邊 景明）
備考	ご自身の情報利用停止のお申し出があっても、解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

お問い合わせ先：〒300-8585 茨城県土浦市下高津 2-7-14

独立行政法人国立病院機構 霞ヶ浦医療センター （電話：029-822-5050）